

特別講座の様子

第1回特別講座〔6月21日（金）〕

演題：地元タウン誌から見てきた岩手の長短

講師：月刊アキュート編集長・岩手大学非常勤講師 海老名 勝宏 氏

内容：アキュート創刊 50 年の歴史の中で取材してきた盛岡の記録を紐解きながら、大通の変化や頑張っている老舗などを紹介し、変わりゆく盛岡と変わらぬ盛岡について講師の考えを解説していただいた。その解説を聴きながら、令和 5 年 1 月のニューヨーク・タイムズ紙「2023 年に行くべき 52 か所」の 2 番目に盛岡市が選ばれたことの意味を認識するとともに、ネットを含む多メディアの時代に、市民に寄り添った手作り情報誌の価値を理解することができた。



講演する海老名氏

～聴講者の声から～

- 自然環境が歴史上の人間形成に影響しているという話が新鮮な感覚。老舗は良く利用しており、歴史を感じる「南部そば」好きとしては興味があった。岩手の土壌や物造り等評価され、岩手県人の分析が楽しかった。
- 盛岡に住んでいたので大変懐かしく楽しい時間でした。改めて元気なうちに市内を歩いてみたい、盛岡って素晴らしいと再認識した。
- 昔の大通商店街が懐かしい。秋田と岩手の比較文化論的感想は面白い。盛岡の良さを維持発展させていきたいですね。盛岡を色々誉めていただき、少し照れくさい。
- 未だに、毎日出歩いて新しい店を探すのが好きです。佐々木電機は娘の同級生の家で、閉店する時は、皆悲しい思いをしたことを思い出す。和菓子屋さんも、小さくとも味にプライドを持っているところがステキです。
- 冷麺、食道園の話も面白かった。松田屋菓子店など盛岡にいても知らない店がある。大通り今昔の地図をじっくり見たい！

第2回特別講座〔7月12日（金）〕

演題：世界に羽ばたく MORIOKA～知られざる魅力とは？

講師：文化地層研究会会員・NHK 文化センター講師 真山 重博 氏

内容：昨年 1 月のニューヨーク・タイムズ紙に「2023 年に行くべき 52 か所」の 2 番目に盛岡市が選ばれたことを契機に、私たちは盛岡の魅力を確認したが、郷土の歴史・文化の研究者である講師の解説で、その魅力の奥には先人の願いや市民の熱い思いなどが脈々と受け継がれ、強固な基盤となり盛岡を支えていることが理解できた。また、新たな魅力も発見でき、市内散策への意欲喚起にもなった。



講演する真山氏

～聴講者の声から～

- 地元に興味を持つことで、ここに暮らすことがいとおしくなる。それはやがて喜びになり誇りになる。真山さんのお話を聴いてそう感じた。改めてじっくり歩いてみたいと思った。
- 良くまとめられた内容で分かりやすかった。盛岡の隠された魅力を存分に教えてもらった。県外の友人にも紹介したい。
- ユーモアたっぷりです分かりやすい話。歴史に沿った建物など大事にしたいと思った。盛岡市内の歴史散歩がより充実したものになりそうです。
- 実に興味深いことばかり、盛岡出身ではないが20年も過ごしてきたのに、何を聞いても新しいことのように思われてとても嬉しい。寺や市内を巡り歩いた時、思い出しては話せることを皆にも聞かせたい。
- 盛岡市の今昔が良く分かり、改めて訪れたいと思った。機会あるごとに市内巡りのツアーに参加しているが、今回の講座で更に理解が深まった。

第3回特別講座(本校講座兼特別講座)〔8月18日(金)〕

※ 第3回本校講座を参照してください。

第4回特別講座〔9月6日(金)〕

演題：医師と野菜ソムリエの二刀流が伝える健康・美容・食育

講師：医師・野菜ソムリエ上級プロ 宮田 恵 氏

内容： 年老いても丈夫で元気であるためには、加齢による身体的・精神的な衰えを最小限に抑え、健康で活力ある生活を送ることが大切であり、老化の認識とともに、アンチエイジングの基礎知識が必要であることを解説していただいた。特に、薬だけに頼ることなく、野菜を選択する力をつけ、野菜を「くすり」として健康を維持するなど、生きる社会を食生活から再考していくことの大切さを学ぶことができた。



講演する宮田氏

～聴講者の声から～

- 野菜の中の成分が、薬よりも体に良く効くものがあり、薬に頼らずに良い物を選んで食べることが大事だと分かった。
- カット野菜を利用していただけれど、栄養価が落ちると聞いて、使い方を考えたいと思った。また、肝臓の働きに関する講義が役にたった。サプリメントの使用についても今後の参考になった。
- 野菜の見分け方と成分について分かりやすく興味深かった。身体への食物の影響が具体的で、野菜を購入するときに注意して買えると思った。食物の大切さ、摂取のし方に注意しようと思う。
- 野菜を購入する時、注意して買えると思った。食物の大切さ、摂取のし方に注意しようと思う。
- 健康で暮らすためには、漫然としていてはダメで、知識を付けて実践することが大切であること、そして、野菜が薬になることがわかった。役立つ野菜をもっと具体的に知りたいと思った。
- 医学的専門分野について良い勉強になった。90歳まで趣味を楽しみ、余生を過ごすのが望みだったので、今日の講座内容を大事にして生活したい

第5回特別講座〔10月1日（火）・2日（水） 同じコースを二日設定〕

講座：命と故郷を守る郷土部隊～陸上自衛隊岩手駐屯地～

講師：陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室広報班長 新家 勉 氏

内容： 初めに、岩手駐屯地の概要について説明していただき、その後、厚生施設や資料館見、そして、食堂で自衛官の昼食を体験喫食した。自衛隊員の姿は災害時に活躍する様子等をテレビで見ることぐらいだが、通常訓練の難しさや人間としてのやさしさなど、別の面の魅力にも触れることができた。岩手駐屯地のすべての対応に学生が感銘した様子だった。また、岩手駐屯地見学後のイーハトーブ火山局や松尾八幡平ビジターセンター見学も、岩手山近郊の自然や災害を学ぶ良い機会となった。



陸上自衛隊岩手駐屯地の見学の様子

～聴講者の声から～

- とても有意義な一日でした。3・2の時、自衛隊のご尽力に大変お世話になりました。素晴らしい所で訓練されていて安心です。ありがとうございました。
- 駐屯地の初めての見学でした。各場所での説明がきめ細かく、大変良かった。
- 福利厚生施設を中心に隊員の皆さんの生活の一端を垣間見れた。歴史も、装備品も素晴らしい。

- 初めて自衛隊駐屯地内部で国や国民を守ってきた歴史や道具等・・・そして日々の隊員の訓練を垣間見て、安心・安全な日本を永遠にと願い、感謝しました。
- 自衛隊の存在や働いている方々のお話を伺うことができ、国の防衛についても、今後、関心を持つようにしようと思った。
- 駐屯地の人達の優しさ、気使いが印象深かった。自衛隊という堅い印象が少し変わった。
- 初めて見る物が多く、説明も良く分かり、大変良かった。バイクやトラックにも乗ってみて楽しかった。凄い設備だと思った。災害の時など力になっていることに感謝です。
- 国を衛ることは大変なこと、隊員は常日頃頑張っているところを見せてもらった。
- 隊員の方の日常をほんのちょっとですが知れて良かった。昼食は美味しかったです。